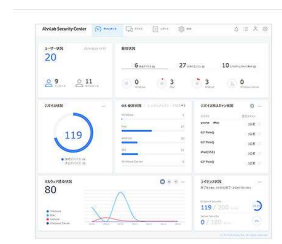


AhnLab V3 Security for Business

「AhnLab V3 Security for Business」は、PCやスマートフォンなどをマルウェア（ウイルス）から守る、エンドポイントセキュリティ製品です。ランサムウェアやゼロデイ攻撃をリアルタイムで検知して、未知のセキュリティ脅威を遮断するASD Cloud Threat Intelligenceにより、中小企業のIT環境を保護します。「AhnLab V3 Security for Business」により、管理サーバーと個々のデバイスを簡単に一元管理・保護できます。

AhnLab V3 Security for Business 3つの特徴

- 最良のコストパフォーマンス
 - ・大手仕様の設計ではないため、中小規模の契約数でも利用料は十分安価な設定となっています。
 - ・別途機器やサーバ等の購入、設置等がなく、初期投資不要で利用開始が可能となっています。
 - ・初回登録料、新規事務手数料等のイニシャルコストはありません。利用料のみの価格設定となっています。
- シンプル設計によりかんたん、使いやすい
 - ・管理者用画面は複雑さがなく、知識不足でも操作可能などにかくシンプルなインターフェースとなっています。
 - ・独自技術により重くならず通信速度を維持しています。
 - ・中小企業の環境、体制、知識に合わせて業務不可を最大限に抑えての構築、運用の実現を追及しています。
- 中小規模法人に必要な機能、プランのみを提供。中小法人の体制、知識を考慮
 - ・複雑な複数プラン、複数オプション等がなく、ワンプランのみで中小規模必要な機能を装備しています。
 - ・大手向けの過剰機能設定ではないため、大手の導入実績多数のメーカー製品への抵抗、不安を解消いたします。
 - ・事前に体験版を積極的に提供しており、サポート体制も使用感の意見等にも柔軟な対応を実施しております。



【管理専用ページ (Security Center) のインターフェイス】

AhnLab V3 Security for Business 実現できる主な対策

- 業務利用のデバイス（PC・スマートフォン・タブレット）をマルウェア（ウイルス）から守る
 - ・自動、手動スキャンの実施により、マルウェアを検知し遮断されることにより、社内データの流出などを防ぐことが可能です。
- 不安なURL（サイト）へのアクセス防止・・・WEB遮断管理（フィルタリング）
 - ・不正、不要なサイトを遮断し、外部からの悪意ある攻撃や流入、フィッシングサイト等から守ることが可能です。
 - ・業務で認めていないサイトへのアクセス防止が可能です。（グループ単位（部署等）で設定可能）
- 簡単に社内デバイスを一元管理が可能
 - ・一つのライセンスでマルチデバイス、マルチOSに対応しているため、OS毎にライセンスを分ける必要がありません。PC・スマートフォン・タブレットに対応しており、OSはWindows・macOS・Android・iOSに対応しています。
 - ・社内デバイスのセキュリティ状況の統合管理が可能です。管理者用WEB管理画面にて各デバイスのセキュリティ状況をモニタリング、運用が可能です。
 - ・レポート項目や周期を設定して自動でレポートを作成し、散布することが可能です。ユーザーがアクセスしたURLや、作成または保存されたファイルを様々な角度から分析することが可能です。

セキュリティ機能とモバイル管理（MDM）機能の一元管理

- 会社全体の運用効率化、経費削減につながる
 - ・社内導入ツール自体の管理・運用も効率化が実現可能です。
 - ・セキュリティとMDM、それぞれ別に利用料支払いしていたものが一本化され契約管理、更新対応が効率化、かつ安価のため経費の削減が可能です。
 - ・従業員のデバイス登録、入社・退職・人事異動処理等での発生業務が一元化され、管理運用人件費削減にもつなげることが可能です。
- 管理画面が統合された効率的な一元管理が可能
 - ・社内のセキュリティとMDMの管理がひとつの管理者用画面内で実施することが可能です。
 - ・管理画面が統合されることで、効率的に一元管理・運用が可能です。
 - ・画面がシンプル、操作が簡単で誰でも容易な製品設計となっています。
- ガチガチの管理や制御は「しなくない」「できない」「する必要ない」といった中小法人向け
 - ・「使わない過剰な機能は不要」といった多くの中小法人向けに必要な機能のみを簡単にわかりやすく利用できるようになっています。

【主なMDM機能】

- ・紛失、盗難時対応（遠隔ロック・初期化）
- ・アプリ一括配信、削除
- ・位置情報取得
- ・機能制限（カメラやスクリーンショット、端末ロック等）
- ・パスコードロックポリシー作成
- ・会社所有端末と個人所有端末のすみ分け管理（BYOD利用時）
- ・複数ポリシーグループ作成
- ・ブラックリスト／ホワイトリスト

など、現在要望等から機能の拡充に向けて順次対応中